

豊橋文化祭開会式典を開催しました。

今年は豊橋文化賞に長唄・三味線師匠の杵屋勝奈栄さん、豊橋文化奨励賞にピアニストであり、桜丘高等学校音楽科ピアノ科主任の野畑さおりさんが選ばれました。

令和4年9月24日(土)、豊橋文化祭の幕開けを飾る豊橋文化祭開会式典が豊橋市民文化会館ホールにて開催されました。オープニングとして箏曲 加藤信子社中による箏曲演奏が披露され、浅井由崇豊橋市長、高須博久理事長による挨拶の後、豊橋文化賞、豊橋文化奨励賞の表彰、続いて地域文化振興活動功労賞、郷土芸文作品入選者の表彰が執り行われました。

また、記念公演として令和2年度の豊橋文化奨励賞の受賞者である作曲家・鈴木直己さんによる「のぞいてみよう!作曲家のお仕事」が行われ、作曲家ならではの視点によるピアノ演奏とトークを織り交ぜたコンサートで、来場者を交えた即興演奏もあり終始和やかな舞台となりました。

過去2年は新型コロナウイルスの流行により豊橋文化祭の事業数も大きく減少していましたが、今年はいよいよ元に戻ってきました。市内文化施設等において文化祭行事一覧を配布しています。今年の秋は、文化の秋を満喫してはいかがでしょうか?



子どもの頃過ごしていた部屋の窓から見える庭と、大切にしていたうさぎを描きました。今作は伊古部海岸や泉港で採取した貝や石を絵の具にし、着色した部分があります。

【2人展のご案内】
鈴木麻友×安松美由紀 2人展 『そらに想う』
2022.10.2(日)～10.31(月) 会期中無休
10:00～18:00 ※最終日のみ15:00まで
アートエিজギャラリー
愛知県豊橋市向山西町3番地の2
入場料:無料

受賞者インタビュー

豊橋文化賞

杵屋勝奈栄さん(長唄・三味線師匠)

【受賞理由】

昭和47年に長唄団体「勝奈栄会」を結成し、以来50年近くにわたり長唄・三味線の技芸の研鑽に励み、長唄の魅力を追求すると同時に多くの人々へ長唄の魅力を発信してきました。また、長唄協会の役員を務めるなど、長年にわたり地域の長唄文化の指導的役割を果たし、邦楽文化の普及発展・後継者の育成に多大な貢献をされました。

—先生の生い立ちと、三味線を始めたきっかけを教えてください。

私は静岡県豊田で生まれました。戦後間もない小学4年生の時に友達に誘われて三味線を始めました。というのも、当時は戦争が終わったばかりの頃で子どもが遊ぶものがなかったんです。家の床の間に皮の破れた三味線があって、両親は三味線をやったことがなかったのですが、「三味線を始めるなら皮を張り替えてやろう」と祖父が皮を張り替えてくれたことが始まりでした。ないないづくしの頃だったので、たまたま家に三味線があって、友達に誘われたから始めた、という感じですね。最初から「杵屋」で習っていて、当時は踊りなどもテープではなく生演奏でしたので、曲を丸暗記していた私はよく引張られました。人が足りないときに呼ばれるんです。でもお駄賃をもらえるのが魅力的で呼ばれるとすぐに行っていたので「あんたはよう弾くでね～」とかわいがってもらっていました。

—その後、名取になられるまではどのような経緯があったのでしょうか。

私は東京の大学に進学したかったのですが、体が弱かったので親に反対され、「じゃあ三味線の名取になりたい」と頼み、東京まで実技試験を受けに行きました。その後結婚し、豊橋に来たら元気になりました(笑)子どもは4人いたのですが、一番下の子どもが生まれてすぐ、子どもを背負いながら夫の会計事務所の手伝いをして、その子が3歳になる頃に三味線を再開しました。10年くらい三味線と離れていましたね。夫が「三味線、好きな時にやればいいよ」と言ってくれたおかげで「続いた」のが本当に良かったと思います。夫は油絵を描くことが好きだったので、2人で各々好きなことをやっていた、という感じですね(笑)

—昭和47年に旧豊橋文化協会に入られたのですね。杵屋勝奈先生に「文化協会に入らない?」と誘われたことがきっかけで、昭和47年に文化協会の団体会員に入りました。勝奈栄会を始める前から弟子をとってはいたのですが、このタイミングで「勝奈栄会」と名乗るようになりました。

—勝奈栄会が所属する杵屋会の特長はどのようでしょうか。

7代目が「三味線をみんなで楽しもう」「若い人を育てよう」という意識が強く、三味線を広めた方でしたので、現在のように大人数で発表会をするのは杵屋会だけです。私もよく東京へ行きましたが、夫に「日帰りだぞー!」と言われながら(笑)北海道から九州まで、全国各地に集まりましたが、東京に集まるのが多かったですね。歌舞伎座に450人集まって演奏したこともあります。来年は京都の南座で発表会の予定です。これだけ大人数でも音がきちんとそろい、みんなでやる良さを味わっています。

—三味線の魅力を教えてください。

三味線は3つにたむことが出来て、どこへでも持って行くことが出来ます。2000年にアメリカのケンシ州に三味線の演奏に行ったこともあるんですよ。もちろん洋楽には洋楽の良さ、オペラにはオペラの良さがありますが、三味線は手軽に出来るのが魅力ですね。

ただ、現在は後継者がいないですね…新しく入る若い人が少ないですし、師匠も減って寂しいですが、これからも一生懸命伝えることを大切にしていきたいと思っています。

—ここまで長く三味線を続けてこられた理由を教えてください。

「好きこそものの上手なれ」とよく言いますが、その通りだと思います。三味線が苦痛だと思ったことはないですし、「人より上手になりたい」という気持ちが強かったですね。尊敬できる好きな先生から上手になるコツ・テクニックを学び、目標に向かって頑張ってきたことがここまで長く続けてこられた理由だと思います。



豊橋文化奨励賞

野畑さおりさん(ピアニスト、桜丘高等学校音楽科ピアノ科主任)

【受賞理由】

優れた演奏技術と高い芸術性を持つピアニストとして、感性豊かで誠実な演奏は多くの人を魅了するとともに、共演者からの信頼も厚く、地域で充実した音楽活動を展開されています。また、音楽家としての豊富な経験と幅広い見識を活かし、審査員や文化関係者も務めるなど地域の音楽文化の振興発展に大きく貢献されています。

—ピアノを始めたきっかけを教えてください。

幼稚園の時に、「ヤマハ音楽教室」「カワイ体操教室」「絵画教室」と3つの教室が開講されていました。「いろいろやってみよう」という思いで、家にピアノがないにも関わらず、友達と一緒に3つの教室を楽しんでいました。卒園間近、先生にヤマハを続けることを勧められ、受験することになったのですが、家にピアノがなかったでグループレッスンの後少し残ってレッスンを延長していただき、無事合格できました。小学校入学直前に、親戚から処分予定の古いアップライトピアノを譲り受け、小学校1年生からピアノを習い始めました。

—その後、どのようにピアノを続けてこられたのでしょうか。

実はピアノ一筋ではありませんでした。そろばん、習字、英語教室など、友達が習っているところに付いて行っていました。あまりにも習い事が多いので、クラシックバレエを習わせてもらったのは3か月限定でした。

小学校6年生の時、「全日本学生音楽コンクール」が小学校の運動会と日程が重なり、先生にはコンクールを受けるように強く勧められましたが、小学校最後の運動会を選びました。本当に熱心なピアノの先生に対して、小学生ながらに申し訳なさでいっぱいになり、ピアノをやめたいとは思いませんでしたが、こんな中途半端な気持ちでピアノを続けてはいけないうち、潔くピアノをやめ、週1回のヤマハレッスンのみ続けました。しかし、自分で作曲した曲を演奏できなくなってしまい、中学2年生から再びピアノのレッスンに通うことになりました。

—高校、大学、大学院と音楽を専攻してピアノを続けてこられたのですか。

中学3年生で進路に悩みましたが、親の反対もありましたが桜丘高校の音楽科に進むことになりまし

た。高校でピアノがとても上手で尊敬している先輩に「野畑ちゃん、この程度の練習で大丈夫…?」と言われたことをきっかけに、平日は5時間、休日は8時間ピアノを練習するようになりました。練習は苦痛ではなく、やればやるほど楽しかったのですが、自分が想像しているように弾けない時は悔しかったです。

大学は、また親の反対を押し切り東京音楽大学へ進学し、東京に行くことさえ反対されたのに、そのまま豊橋に戻らずドイツのドレスデン国立音楽大学大学院へ進学しました。シューマンが好きなのでドイツを選びました。シューマンの音楽はとてもロマンチックで、描いていくメロディーやハーモニーの美しさが魅力的なので、一度心をグツとつかまれば離れられないですね。

—現在は桜丘高校の先生と演奏活動を両立されていますか。

生徒のために良いレッスンをしようという気持ちで、教えることは喜びであり、自分が得た幸福感を生徒にバトンタッチすることでそれが続くといいなあ、と思っています。ただ、学生時代のように毎日たくさんピアノを弾けるわけではないのでスキマ時間を見つけて練習をしています。

ピアノをやめたいと思ったことは一度もないのですが、40歳を前にペパーデン結節となり、もうピアノ人生が終わってしまうかと思いました。ペパーデン結節は、指の第一関節に痛みや腫れ、変形を起こす病気で、かかった当初は東京や大阪の病院に通院し、テーピングをしながら大騒ぎでした。指が変形していくので、鍵盤を掴む感覚も変化してしまいます。ですので、その都度注意しながら弾いたり、痛みのひどい指を極力使わない指使いを考えたりしており、今ではこの状態が当たり前になっています。

—これからの夢を教えてください。

大切な学校の仕事をしながら、できる限り息長くピアノを演奏していきたいですし、作曲やアレンジも続けたいです。また、作曲家のメッセージを伝える責任があるので尊敬の念をもって尊い曲を演奏させていただくことをこれからも大切にしたいです。受け継がれる楽譜を音として伝え、残していく責務があると考えています。

さらに、優秀な若手演奏家が豊橋を離れていってしまうことが多いので、若い人たちにとって、豊橋に残りたい、戻りたいと思えるまちにしたいですね。豊橋に音楽と芸術で溢れる未来が来ることを強く希望しています。

ここ一年程、仕事の都合で週に2日は、安城・刈谷周辺のホテルに滞在している。最近の夕食は、寿司屋を兼ねる安価な居酒屋で、生中ワンジョッキに寿司を数貫つまんで済ませることが多い。

ほろ酔い気分ホテルに戻り、ひと風呂浴びてベッドにゴロリ。秋の夜長の過ごし方は数多あれど、マイブームは、気に入った小説を読むことだ。

今宵、お供の文庫本は、山田洋二が脚色してメガホンを取り、志村けんが代役に沢田研二を登用したことで話題となった映画『キネマの神様』の原作者で、元美術館のキュレーターというちょっと変わった経歴を持つ原田マハが執筆した『暗幕のゲルニカ』…そのブックカバーを飾る絵は、ご存じパブロ・ピカソの大作『ゲルニカ』。

主人公は、腕利きのギャラリストの夫と幸せに暮らすニューヨーク近代美術館のキュレーター・八神瑠子。しかし、同時多発テロによって夫を失った彼女はピカソ展を企画し、反戦の象徴である『ゲルニカ』を展示しようと画策する。そんな折、国連でイラクへの武力行使が承認された記者会見で、後ろに掲げられていた『ゲルニカ』を模したペストリーに暗幕が掛けられ「いったい、誰が命令したのか?」と大騒ぎになる。

ニューヨーク近代美術館理事長の命により、瑠子はマドリッドに赴き、紆余曲折の末に『ゲルニカ』の貸し出し許可を得るが、テロ組織に拉致され命の危険に晒される。

暫くして特殊部隊に助け出された彼女は、念願のピカソ展を美術館で開催し、反戦の象徴として『ゲルニカ』をめたく展示することができたというストーリーだ。

ピカソとその愛人ドラが生きた時代、つまり『ゲルニカ』制作に至る経緯からスペインに作品が返還されるまでの期間と現代のアメリカでの出来事が、時空を超えて同時進行形で展開していくという凝った構成になっている。

さて、アンリ・ルソー

最晩年の油彩画『夢』をブックカバーに搭載したもう一冊の文庫本…『暗幕のゲルニカ』の前作に当たる『楽園のカンヴァス』も続けて読破しようと思う。同一の主人公が、スイスの大邸宅で『夢』に酷似した作品と出会う場面から始まり、その真像を推理していくというアートを軸にミステリーと恋愛を絡ませた興味深い内容だ。

皆さんも秋の夜長は、スマホをいじるのをしばらく中止して、虫の音をBGMに読書三昧で過ごしてみてもいかがだろうか?

余談だが、パブロ・ピカソは食へのこだわりが強く、その好物は「闘牛場で殺された暴れ牛の○○ニンニク炒め」だったとか…晩年まで衰えなかった旺盛な創作意欲と女性への情熱は、ちょっと変わったスタミナ料理のおかげだったのかもしれない。



催し物スケジュール 11月~12月

※この予定表は予告なしに変更になる場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。

豊橋文化 2022年10月発行

市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が後援する催し物を中心に掲載しています。掲載のご希望は、問合せ先までご連絡ください。

11月	第48回 豊橋音楽連盟コンサート 時間●第一部:13時開演(12時30分開場) 第二部:15時30分開演(15時開場) 場所●豊橋市民文化会館 ホール 入場料●無料 内容●豊橋音楽連盟会員生徒によるクラシックコンサート
3日(木)	澄心会書道展..... 6日(日)まで 時間●12時~17時 場所●豊橋市民文化会館第1展示室 入場料●無料 内容●澄心会書道展、ジュニア展
4日(金)	第64回豊橋邦楽大会 日本舞踊の部 時間●12時30分開演(12時開場) 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール 入場料●2,000円 内容●市内邦楽団体による披露(日本舞踊)
6日(日)	第31回吉田文楽保存会定期公演 時間●13時30分開演(13時開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●吉田文楽保存会による市指定無形民俗文化財「鮑海人形浄瑠璃」の公演 外題「二人三番叟」「傾城阿波鳴門 巡礼歌の段」「艶容女舞衣 酒屋の段」
7日(月)	豊橋ウインドアンサンブル 第34回プロムナードコンサート 時間●13時30分開演(13時開場) 場所●ライフポートとよはし 入場料●無料 内容●スタジオジブリの世界を感じる吹奏楽コンサート。
9日(水)	豊橋市長杯 年齢別歌謡選手権大会 時間●9時15分開演(8時30分開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料 内容●歌唱大会
11日(金)	茶道クラブ月例茶会 ※要事前予約 場所●三の丸会館 会費●一般600円 会員500円 担当●表千家清和会
12日(土)	有坂パステル画教室 合同作品展(第14回)..... 13日(日)まで 時間●9時~(初日は13時~) 場所●豊橋市民文化会館 第二展示室 入場料●無料 内容●約60点のパステル画の展示。
13日(日)	裏千家六日会月釜 時間●10時~ 場所●三の丸会館 会費●800円 担当●神藤宗枝
15日(火)	第8回島倉千代子さんを偲んで追悼コンサート 時間●14時開演(13時30分開場) 場所●豊橋市民文化会館 ホール 入場料●1,500円 内容●島倉千代子さんを偲んで、名曲の数々を生演奏で楽しむ。
16日(水)	グループ「草」いけばな展 13日(日)まで 時間●10時~16時 場所●Gallery亜鳥絵 入場料●無料 内容●草月流いけばなの作品展
19日(土)	TFM合唱団第33回演奏会 創立40周年記念 時間●14時開演(13時15分開場) 場所●ライフポートとよはし 入場料●一般1,500円 学生500円 内容●混声合唱と2台ピアノのための 唱歌の四季、混声合唱のための 白秋・東京雪物語など。
20日(日)	MOA美術館豊橋児童作品展 20日(日)まで 時間●9時30分~17時(最終日は16時まで) 場所●こども未来館こここ 入場料●無料 内容●市内の小学生を対象とした絵画と書写の優秀作品を展示。
22日(火)	第52回コーラスのつどい 時間●12時30分開演(12時開場) 場所●豊橋市民文化会館 ホール 入場料●無料 内容●市内で活動する8のコーラスグループが一堂に集うコンサート
23日(水)	劇団「第五会議室」第8回公演「その扉、スタッフ・オンリー」..... 20日(日)まで 時間●19日(土):14時30分開演/18時30分開演 20日(日):11時開演/15時開演 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース 入場料●一般2,500円 高校生以下1,500円
23日(水)	第64回豊橋邦楽大会 詩吟・吟剣詩舞の部 時間●13時開演(12時30分開場) 場所●豊橋市民文化会館 ホール 入場料●1,000円 内容●市内邦楽団体による披露(詩吟・吟剣詩舞の部)
24日(木)	日曜短歌会 時間●13時~ 場所●豊橋市民文化会館2階第7会議室
24日(木)	豊橋マンデーナイト ジャズオーケストラ 第34回定期コンサート 時間●18時30分開演(18時開場) 場所●ライフポートとよはし 入場料●無料 内容●カウントペイシー楽団を主にビッグバンドの楽曲を演奏。
24日(木)	ローズアンサンブルがおくる気軽にクラシック 時間●14時~ 場所●豊橋市小坂井文化会館フロイデンホール 入場料●一般1,500円 学生500円 内容●ソプラノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノによる編成で、クラシックの名曲の数々をローズアンサンブルオリジナルアレンジで、トークを交えながら演奏します。
24日(木)	人形劇大人向け公演・人情斬「ラーメン屋」..... 23日(水)まで 時間●22日(火)14時開演(13時40分開場)/19時30分開演(19時10分開場) 23日(水)10時30分開演(10時10分開場)/14時開演(13時40分開場) 場所●豊橋市民文化会館第一会議室 入場料●1,500円 内容●落語の人情斬を人形劇に仕立てて上演。
24日(木)	中嶋俊晴×野畑さおり デュオリサイタル ~歌曲のひとつとき~ 時間●14時開演(13時30分開場) 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース 入場料●一般3,000円 学生1,500円(当日各500円増) 内容●気鋭のカウンターテナー中嶋俊晴と豊橋出身・東三河で活躍を続ける野畑さおりによる珠玉の歌曲の数々。
24日(木)	校区市民総合展..... 27日(日)まで 時間●9時~17時 場所●豊橋市民文化会館 展示室 入場料●無料 内容●校区文化協会などから選ばれた書道・絵画・写真などの展示
24日(木)	えいじゃないか!豊橋 和太鼓フェスタ「響」2022 時間●11時開演(10時30分開場) 場所●ライフポートとよはし 入場料●無料 内容●2009年第1回目を開催し、以後毎年開催の豊橋中心に各地域で活動する和太鼓団体を集めたフェスタ形式の和太鼓演奏会。
24日(木)	水曜短歌会 時間●13時~ 場所●豊橋市民文化会館2階第7会議室
24日(木)	上江準人とアンサンブル・クラシカ・トリオのコンサート 時間●18時30分開演(17時30分開場) 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース 入場料●6,000円

24日(木)	内容●2023年5月に行われる、三河市民オペラ公演「アンデレ・シェニエ」のソリスト上江準人氏とオペラの殿堂ミラノ・スカラ座で28年間、フルートの首席奏者を務めたロマーノ・ブッチを中心にしたアンサンブル・クラシカ・トリオによる、心を震わせるオペラのアリア・カンツォーネ、そして映画音楽をお届けするコンサート。
26日(土)	前川健生テノールリサイタル 時間●14時開演(13時30分開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●3,000円 曲目●ブッチーニ作曲「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」ほか
27日(日)	愛知大学吹奏楽団 第55回定期演奏会 時間●17時~ 場所●アイブラザ豊橋 入場料●前売り400円 当日500円 ※小学生以下無料 内容●I部:シンフォニックステージ II部:ステージマーチングショー III部:ポップステージ
3日(土)	校区市民総合芸術祭 時間●12時30分開演 場所●豊橋市民文化会館 ホール 入場料●無料 内容●校区文化協会などから選ばれた団体による音楽や舞踊のステージ
4日(日)	はじめてのお能体験【参加無料】 時間●14時~16時 場所●西村能舞台(豊橋市上伝馬町) 参加料●無料 お問合せ●090-7048-3531(内藤)hoshoryu.hiunkai@gmail.com
3日(土)	とよはし歴史群像劇「神野新田物語」最終話(戦争を生きぬいて)公演..... 4日(日)まで 時間●各日とも11時開演/16時開演 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール 入場料●S席4,000円 A席小中高生1,000円 A席大人2,500円 内容●神野新田開拓と戦後の港湾開発等、郷土の歴史を題材として、神野三郎に関わる人々の生き様や人間模様を描いた創作劇の公演
4日(日)	茶道クラブ月例茶会 ※要事前予約 場所●三の丸会館 会費●一般600円 会員500円 担当●裏千家今和会
6日(火)	裏千家六日会月釜 時間●10時~ 場所●三の丸会館 会費●800円 担当●河原崎宗妙
9日(金)	高文連東三河支部「高校生の写真展」..... 11日(日)まで 時間●9-10日:9時30分~16時30分 11日:9時30分~16時 場所●豊橋市民文化会館2階展示室
11日(日)	豊橋交響楽団第128回定期演奏会 ~重厚な響き・秘めた思い~ 時間●14時開演 場所●ライフポートとよはし コンサートホール 入場料●一般2,000円 小中高生500円 曲目●交響曲第1番(J.ブラームス) 幻想序曲「ロメオとジュリエット」(P.I.チャイコフスキー) 歌劇「魔笛」序曲(W.A.モーツァルト) 指揮●佐々木新平
18日(日)	光松順子エレクトーンコンサート 時間●14時~ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース 入場料●大人3,000円 小人1,500円 内容●エレクトーンソロ演奏、ピアノとエレクトーンデュエット
21日(水)	第17回津軽三味線雅會発表会 時間●10時開演(9時30分開場) 場所●豊橋市公会堂 入場料●無料 ※要整理券 内容●雅會会員による津軽三味線演奏
23日(金)	日曜短歌会 時間●13時~ 場所●豊橋市民文化会館2階第7会議室
23日(金)	はじめてのお能体験【参加無料】 時間●14時~16時 場所●西村能舞台(豊橋市上伝馬町) 参加料●無料 お問合せ●090-7048-3531(内藤)hoshoryu.hiunkai@gmail.com
23日(金)	水曜短歌会 時間●13時~ 場所●豊橋市民文化会館2階第7会議室
23日(金)	MALTA 七人のサムライジャズ 時間●18時開演(17時開場) 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール 入場料●SS席4,000円 S席3,000円 はか 内容●国内外で活躍するSax演奏者MALTA氏と6人のジャズプレイヤーによるクリスマスコンサート

伝統文化子ども教室を開催しました。



文化短信

▼豊橋市民俳句会 第652回句会
一徹の父の晩酌冷奴 篠田和代
持ち古りてわが心知る秋扇 大河美智子
過疎の里眼に映る夜涼の灯 鳥居節子
冷奴崩し佳境に入る話 佐藤英子
夕立に一気に昇る地熱かな 加藤美津子
日本酒も洋酒にもよし冷奴 林 春美
今朝の秋昨日の空とこへやら 藤田源一
農機具の錆れし小屋に蜘蛛の巣 河合澄子

▼豊橋市民俳句会 第653回句会
蝸や知賢の兵の幼顔 加藤美津子
秋耕の鎌をあつくる木の根っこ 鳥居節子
見はるかす露草色の今朝の秋 藤田源一
鳴渡るベンツ積み込む三河港 彦坂聡子
一叢の露草おほふ土葬墓 大河美智子
かなかなや山の水引く喫茶店 佐藤英子
少年の銀輪駆る稲の秋 高橋良子
四回めワクチン済ませうそ寒し 林 春美
蝸や里山深き隠沼 篠田和代
砲弾の天向く古利鵲猛る 河合澄子

▼豊橋文化短歌会 八月水曜短歌会
吾のいる小さな世界と汝のいる小さな世界 また橋落ちる 長谷川公代
復活祭の赤き卵に似る茸か 篠田和代
たれ時を胞子放ちぬ 篠田和代
在りし日の夫の履きたる介護靴氏名も色もまたそのままに 藤田源一
梅雨明け乾いた風吹く夏休み飛び散る水に親子戯る 藤田源一
美容師に何歳若くしましやうか問われ驚く力量すこ 藤田源一
豊川の海軍工廠供養塔名のみ知る義姉過ぎし七十七年 中島タエ子
生き急ぐと酷暑に落ちる青き柿母より先に逝てはならぬ 藤田源一
我が食すシラスを猫が狙いおりシラスつをくちやりと平らげ 竹中寿美恵
猛暑日に街の輪郭揺らめいて眩む視界をタリに絵よめる 原田敬子

▼豊橋橋番傘川柳会 九月句会
お上手もそろそろ疲れ本音出る 佐藤英子
宝くそをそろそろ出てもう待てぬ 池谷英子
限界かなそろそろ道を譲ろうか 波多野律子
スタレし透けて隣は楽しそう 竹本カヲル
くつきりと皿の絵かき刺の薄さ 尾方静子
アルバムから汗と涙の日が透ける 来本芳子
透けるほど清く生き過ぎも寿命 山口タカシ
泥んこに興じる児等の澄む瞳 森 文代
就活で社会の泥を思い知る 戸沢はる
泥んこで生きた昭和の根性 本多雅子
義侠心で被った泥が拭えない 須崎東山
ぬかるみで踏ん張る足が太くなる 遠嶋由紀美
渋滞のない抜け道は遠回り 彦坂石転
古傷は消そう抜け道みな閉じる 寺部水川
習い事抜け道よりも数こなせ 佐藤文兒